

肝炎ウイルス(B型C型)

肝炎ウイルス検査のご案内

- B型・C型肝炎ウイルスは、肝がんの主要因です。
- 感染に気づかず放置した場合、症状がなくても肝炎、肝硬変、肝がんと進行してしまう場合があります。
- 肝炎ウイルスへの感染の有無はたった1回の血液検査のみで分かります。

ウイルス性肝炎は **日本最大級**の感染症です。一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう!

秋田県

●秋田県内の保健所一覧

保健所名	電話番号	管轄する地域
大館保健所	0185-52-3952	大館市、鹿角市、鹿角郡
北秋田保健所	0186-62-1165	北秋田市、北秋田郡
能代保健所	0185-52-4333	能代市、山本郡
秋田中央保健所	018-855-5170	男鹿市、湯上市、南秋田郡
由利本荘保健所	0184-22-4122	由利本荘市、にかほ市
大仙保健所	0187-63-3404	大仙市、仙北市、仙北郡
横手保健所	0182-32-4006	横手市
湯沢保健所	0183-73-6155	湯沢市、雄勝郡
秋田市保健所	018-883-1180	秋田市

●ホームページのご案内

秋田県内での無料検査にお住まいの方は秋田県ホームページをご覧ください。

秋田県にお住まいの方は秋田県ホームページをご覧ください。

●肝疾患相談・支援センターのご案内

肝疾患に関する相談(医療や生活)に関するため、専門機関に相談窓口も設置しています。お気軽にお電話ください。

◎秋田大学医学部附属病院 ☎018-884-6297

◎市立秋田総合病院 ☎018-883-0506

相談の受付は、平日の9:30~16:30です。

秋田県保健・疾病対策課 ☎018-860-1424

だから受けてほしい **肝炎ウイルス検査**

日本で肝炎ウイルスに感染している人は300万人~370万人いると推定されています。

平成16年国立感染症研究所研究開発部肝炎ウイルス感染対策研究事業報告書(国研報告)より引用。

秋田県における肝がんの原因

肝がんの原因の半数以上がB型・C型肝炎ウイルスです。

出典: 国研報告書「肝がんの発生と予防」(平成16年)

肝がんの5年生存率は他のがんに比べて低くなっています。

出典: 国研報告書「肝がんの発生と予防」(平成16年)

肝炎ウイルス検査を受けたことが無い方は早めに検査を受けましょう。

右図を見たことがある方もいるかもしれません。秋田県が作成した肝炎ウイルス検査の

ご案内のリーフレットです。皆さんは肝炎ウイルス検査を受けたことはありませんでしょうか?慢性肝炎を起こすウイルスとしておもにB型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスがあります。これらのウイルスは感染していても、あまり症状が現れないために、感染に気が付かないことがほとんどです。肝炎ウイルスは、感染を放置しておく、慢性肝炎→肝硬変→肝がんへと進行する可能性があることから、早期に発見して適切な治療を行うことが大切とされています。

秋田県では、検査を受ける方の利便性を高めるため、保健所において無料肝炎ウイルス検査を実施しているほか、医療機関においても無料検査を実施しています。これまでに検査を受けたことがない方は、ぜひ検査を受けてみてはいかがでしょうか。

B型C型肝炎ウイルス感染が疑われたら

肝炎ウイルス検査を受けてB型やC型肝炎ウイルスが疑われた後にどういった検査や治療医になるのがわからない方も多いと思います。通常は肝炎ウイルスの検査はHBs抗原検査やHCV抗体検査を行い、肝炎ウイルスに感染している可能性のある方を拾い上げます。これらの検査で陽性となった場合は消化器内科、

特に肝臓専門医のいる消化器内科を受診してください。そちらでウイルス量の検査や肝機能障害の程度などの血液検査や腹部の超音波検査などがおこなわれるはずです。肝機能障害を起こしている場合は慢性肝炎や肝硬変となっている可能性もあります。また、肝細胞癌を併発している可能性もあります。各種検査の後にウイルスに対する治療が行われます。

B型肝炎ウイルスに対しては核酸アナログ製剤の内服となることが多いです(※拳児希望者や若年者ではインターフェロンなどになることも)。核酸アナログ製剤はウイルスの増殖を直接阻害する薬剤で肝炎の抑制や肝癌発癌の抑制などの効果がありますが、半永久的に内服が必要になることがほとんどです。

C型肝炎に対しては、以前はインターフェロンが標準治療でした。現在はインターフェロンを使わない直接作用型の抗ウイルス薬(いわゆるDAA)が第一選択になっています。治療効果も100%に近くがウイルス消失効果を得られるようになってきています。

このように、B型C型肝炎ウイルスは優れた治療法があります。繰り返しになりますが、これまで肝炎検査を受けたことがない方は、この機会に肝炎ウイルス検査を受けてみてはいかがでしょうか。

文責 千葉 充